



ポリプロピレン加飾フィルムを適用した自動車外板の提案

開発ステージ

構想・探索

開発中

開発完了

製品化完了

キーワード

モノマテリアル

再利用設計

軽量化

用途

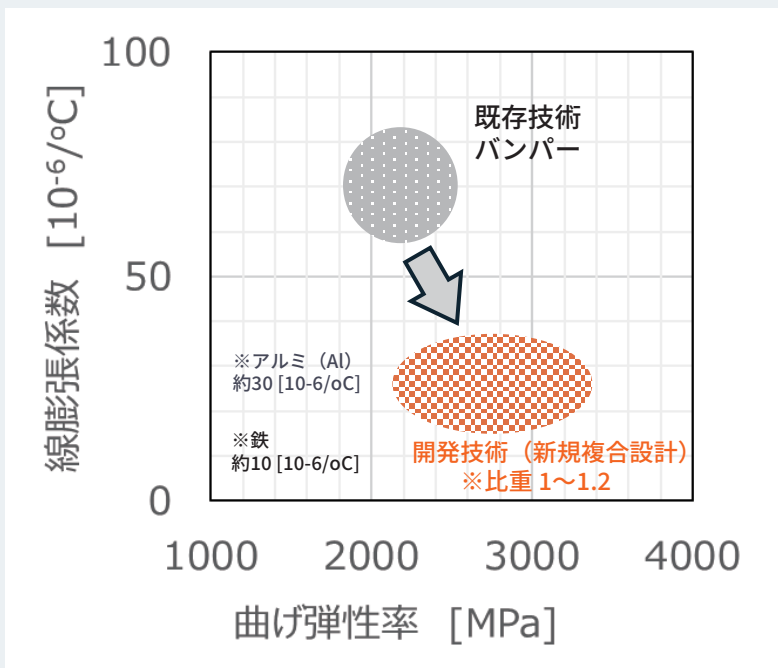
ポリプロピレン製自動車外板

背景

- ポリプロピレン加飾フィルムを適用した自動車外板は、塗装不要で高外観
- モノマテリアル設計により再資源化しやすく、金属材料から置き換えることで軽量化も可能
- デザイン自由度の高い自動車外板を実現

低線膨張ポリプロピレン

特殊フィラー系配合技術により実現可能レベルの寸法精度・剛性設計を達成



従来 PP は膨張が大きく外板に不向きだったが
新規材料はアルミ並みの低膨張を達成

低線膨張 PP と PP 加飾フィルムを組み合わせるメリット

金属代替

低線膨張性ポリプロピレン
形状の自由度、軽量化

塗装代替

ポリプロピレン加飾フィルム
デザインの自由度、塗装レス

ポリプロピレン加飾フィルムを
適用した自動車外板

- ・モノマテリアル設計による易再資源化
- ・形状・デザイン自由度の向上
- ・軽量化
- ・LCA による環境負荷低減

お問い合わせ |  日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。